

子どもたちから再スタートを

青少年育成推進員
連絡協議会会長
織田 俊美

新型コロナウイルスが発生してから3年目になりました。過去2年間は、人の集まりが制限され思うような活動ができませんでした。

現在は第7波の真っ最中でありませんが、行動制限を取らずに経済をまわし、社会活動を維持するという対応が取られています。過去2年間の経験でコロナ禍に対する考え方や対応の仕方が変わりつつあります。

子どもたちにとって日常を取り戻すことは大事なことであります。今までできなかったことを元に戻していきたいと考えています。クラスターや感染拡大など気になるところではありますが、子どもたちが元気で明るく行事やイベントに参加する姿を提供していきたいと思っています。23中学校区それぞれでできることを考え、再スタートしていきましょう。

子どもたちにとって日常を

協議会としても非行防止キャンペーンや中学校対抗ウォークラリー大会など、少しずつ

よこすか育成通信

2022年10月31日発行

33号

題字：上地 克明 市長



青少年育成推進員の委嘱状を手渡す上地克明市長

[令和4・5年度] 役員

コロナに負けず知恵を出し活動 子どもたちに日常を取り戻そう

役職 氏名 中学校区

会長 織田 俊美 追浜

副会長 藤本 孝司 田浦

副会長 岩田 照美 田浦

庶務 比護 友一 池上

庶務 矢口さをり 馬堀

会計 菅原 宏治 公郷

会計 鈴木 和子 大津

監査 小林 正和 大矢部

監査 大庭 辰晃 常業

昨年度までは監査、いわば裏方から、突然表舞台に出て戸惑っていますが、今年は3年ぶりに開催されるわんぱくフェスティバル、延期続きだった横須賀開催の県・青少年指導員大会など大きな行事が開催されます。織田会長のサポートをしっかりとやっていこうと思っています。よろしくをお願いします。

今年度は県・青少年指導員大会が横須賀市で開催されます。またわんぱく特別委員会も立ち上がり、新しい形で動き出しました。皆さんが知恵を出し合い徹底した感染予防対策を考えながら、制限がある活動の中で工夫し動き始めています。コロナ終息にはまだまだ時間がかかりそうですが、少しずつでも前に進んでいけるよう考えていきます。

青少年育成推進員になるきっかけは、平作小学校のPTA会長を務めたことでした。母校ですが、すでに閉校への話し合いが始まっていて、閉校イベントを企画する際に花火大会を開催しました。コロナ禍での浦賀、神明、岩戸中学校の花火企画にも携わり子どもたちには喜んでいただけていたようです。今後ともよろしくお願いします。

庶務3期目になり「資料の印刷」のLv.が上がりました。「Change!&Challenge!」(某ドラマの台詞ですが…)の精神で頑張っていきたいと思っています。血液型はA型ですが結構大雑把なので、皆さんにご迷惑をかけるかと思いますがよろしくお願いします。

青少年育成活動は義務感ではなく自分自身が楽しむことが肝要であり、私たちが楽しみながら活動することで子どもたちも楽しく参加してくれると思います。コロナ禍で活動が制限され翻弄されていますが、ウイズコロナで活動ができるよう皆で工夫していきたいですね。今後も会計としての職務を通じ協議会活動を盛り上げていきたいと感じています。

皆さんの金庫番を任されて長いもので、17年9期目になります。その間、パートナーが3人替わりしましたが、1円のくらくらもなく経過することができました。青少年育成推進員の皆さんのおかげです。今後ともよろしくお願いします。

新任役員として任用していただき、気持ちを新たにしています。微力ではありますが、精いっぱい努めさせていただきます。

監査の主たる職務は、横須賀市青少年育成推進員連絡協議会の会計処理と事業が適切に運営されているか確認することです。この職務を遂行しながら他の役職の補佐も行っていくことで、協議会の運営を円滑に進めることができればと思います。

つではありますが感染対策をしっかり取りながら活動していきます。実行すること優先しながらも状況によって中止という選択肢もあり得

るという中で、しばらくは綱渡りの状態が続くのではないかと思います。

し、自分を守り相手も守ると

いう気持ちを持ちながら活動をしていきたいと思います。新しい年度にあたり、変わらぬご理解とご協力をお願いします。

新任 部会長

広報 岡田 安司 神明

学生時代に新聞部に所属していて、記事を書いたり暗室で写真を現像したりと活動していた私には、広報研究部会はとても楽しく感じられます。取材をしたり写真を撮ったり、さすがに現像することはありませんが、自分の言葉が活字になったり写真が紙面を飾ったりする面白さを推進員の皆さんに伝えられたらと思っています。

育成 高橋 牧生 大矢部

今年度より部会長を務めさせていただくこととなりました。9年前に育成研究部会に移って以来、いくつもの「素晴らしい」に出会いました。わんぱくフェスティバル、中学校対抗ウォークラリーをはじめ地域での活動を通して、いつも子どもたちの笑顔は、美しく眩しく輝いています。これからも育成部会の皆で助け合い協力合って活動を進めていくのが大事なことと思います。少しでも皆さんのお力になれるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

新任者研修会に参加

4月23・27日の両日、3年ぶりに開催され2年前の新任者を含む合計25人が参加しました。市役所担当者、会長、各部長の説明後、質疑応答が行われ、今後の活動へ気持ちを新たにしました。

▼会長、各部長の話をお聞きし概ね理解できた上で、今後に向け何点か感じました。イベントありきの活動だけが主力ではなく、団体や町内、学校などそれぞれと連携し、各活動へのコーディネート「繋ぎ役」も必要ではないか、ということでした。部活動外部指導者登用の話も出ており、連絡協議会、各中学校区で十分に対応可能だと感じました。(久里浜・狩野 昭夫)

▼私は今回3年目となる青少年育成推進員ですが、2年前の委嘱された時期にコロナの影響が出始めたこともあり、改めて新任者研修を受けても良いとのことなので参加させていただきました。

この活動が「何のため」「誰のため」のものなのかを考えながら、難しいかもしれませ

[令和4・5年度] 新任青少年育成推進員

中学校区	氏名	部会
追浜	鈴木 美智子	研修
鷹取	大西 恭子	広報
鷹取	松浦 比佐子	研修
坂本	鳥居 豊	育成
坂本	大竹 忠幸	環境
不入斗	秋山 祥子	環境
不入斗	亀梨 淳	広報
衣笠	中村 靖子	環境
大津	清水 美幸	育成
大津	押本 明	環境
大津	内海 洋子	育成
馬堀	夏苅 節男	研修
馬堀	毛利 佳央	育成
馬堀	武田 麻衣	研修
馬堀	岡崎 史恵	環境
鴨居	角谷 勝彦	育成
鴨居	今橋 博行	広報
鴨居	山崎 愛	環境
鴨居	大海 則和	研修
岩戸	長島 正志	環境
久里浜	村田 恵子	環境
久里浜	岩崎 史彦	環境
久里浜	狩野 昭夫	広報
神明	稲福 恵美子	育成
神明	山本 由里子	育成
野比	岡田 瑞恵	育成
長沢	吉岡 堯	研修
長沢	梅村 薫	環境
長井	高原 和孝	環境
長井	平賀 茂隆	研修
長井	山田 春臣	育成

んが自分も楽しみながら活動ができたらと思っています。

今、広報研究部会に所属し、部会での討論に参加しながら、何が自分にできるかを考えています。

(野比・佐藤 竜也、
不入斗・亀梨 淳)

▼私は皆さんの後を付いていく。(偶然意見が合っちゃいました)

▼山口県の私立中学校・高等学校で38年間教員を務め、定年退職に伴い娘の家庭をサポートするために、2年前横須賀に来ました。12歳から18歳までの生徒たちと向き合ってきましたが、予期せぬ出来事の連続で、大変な毎日でした。問題を起こす生徒も、結構いましたが、その子家庭

環境を知り、じっくり話を傾けてみると、今までよく頑張ってきたね！と抱きしめたくなることも、しばしばでした。

この度、横須賀市の青少年育成推進員に委嘱され、研修に参加して驚きました。こんなに多くの組織が青少年の育成をサポートしているとは、自分が教員の時は正直言っても知りませんでした。地域の方々の陰の支えがあったんだなあとつくづくありがたく思いました！活動内容はまだ把握しきれませんが、これから直接子どもたちと触れ合う機会は少ないと思いますが、周囲からできることをしていきたいと切に思いました。



令和4年度横須賀、三浦地域
青少年指導員
活動研究会

私は、3年目にして、参加させていただきました。三浦、逗子、葉山、鎌倉、横須賀の指導員40人前後の人数で、神

奈川県立青少年センター指導者育成課・栗田強太郎講師のもとで行われました。

青少年指導員の役割、活動、青少年との接し方などの講義の中で、特に印象に残ったことは、失敗もオッケー。『キャンプでの火の熾し方、薪の組み方など、今の青少年は知らないことが多すぎる。それは、危ないからやめなさい、ではなく危なくないように使う方を正しく教えそれを見守る、という体験をさせ、失敗しても、なぜ失敗したかを考えさせる』という内容でした。失敗を初めから恐れず、まっすぐ行動してみるという積極的な姿勢は、今後の活動に役立つものと感じました。(岩戸・飯田 功)

不入斗パトロール

8月1日(月) 19時に佐野の宇東川公園に集合し、青少年育成推進員6人、青少年育成担当者2人、民生児童委員2人、少年補導員4人と力メラマンの総勢15人で文化会館裏の平和中央公園までパトロールを行いました。コロナの影響か人出が少なく、すれ違う人もまばらでした。

スタート地点の宇東川公園ですが、地域の少年補導員の方の話では、不入斗公園とともに子どもたちのスケートボードの練習が問題になっているそうです。夜8時くらいから始め、技の練習による騒音や施設破損があることも。

メッカのうみかぜ公園関係者の話では「平日の夕方から夜は大勢の人が練習しています」。さらに、そこに入りにくくてほかの場所でも練習する子どもたちに向けては「手軽にできるスケートボード。騒音と施設破損で嫌がられる面があります。しかし騒音よりも話し声や雄たけびの方が問題で、そうしたことへの憤り、ゴミを



持ち帰る、施設を壊さないなどルールを説明し守らせる。かわりに公園内に不審者がいたら警察への通報を依頼する。地域の治安悪化の抑止力に貢献できることを伝えていけば、地域との共存と存在が認められるのでは」と仰っていました。

私も若いころある競技にハマり、練習したくて決して寝られない場所?に通った経験があります。当時の私には地域の迷惑など考えられませんでした。今は後悔しかありません。地域の青少年育成推進員や少年補導員も、きっと似たような経験をして、活動の原動力としているのではないかと想像しています。

せつかくオリンピックで盛り上がり、興味を持って始めた子どもたちにもチャンスをつかんでもらいたい。上手とか下手とか関係なく、誰でもどこでも楽しめるスケートボードの可能性を周知し、どうすれば地域の方々との信頼関係を構築できるのか、公の場で話し合える機会を持てればと考えています。

(不入斗・亀梨 淳)

夏休み子ども映画会

8月22日、鷹取小学校のALT教室にて、横須賀市立図書館・視聴覚ライブラリーから16ミリフィルムの『ぼくのじしんえにっき』『ぼくときどきぶた』(各25分)をお借りして、低学年の子どもたちを中心に参加人数19人で映画会を行いました。

↑ 青少年のスケボー環境も整えたい! ↓

実は『ぼくのじしんえにっき』では大地震が発生し、怖い場面がたびたび登場するの子どもたちが泣いたり不安がったりしないか心配はありました。ですが、動揺もせず、主人公やその家族が地震対策をしていたことなど、冷静かつ真剣に受け止めている様子でした。防災意識が高まるきっかけになれたのではないかと思います。

(鷹取・大西 恭子)



色褪せない宝物

— 応援歌を作って中学生を応援できたらいいよね

コロナ禍2年目の昨年5月、神明中学校区推進員会議の帰り、ボソッと行ったのがはじまり。

以前、息子の高校の入学式の挨拶で、その学校の応援歌の歌詞を紹介したことがあった。式の後OBでもあった先生が「感動しました」と握手を求めて来たことがあり、歌ってすごいなって感じました。

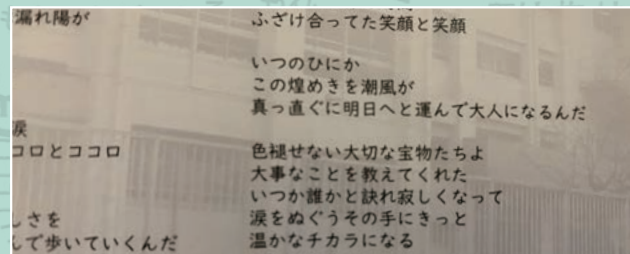
歌には力があって、当時の気持ちや景色が一瞬にしてよみがえる。学生時代に皆で歌った曲や合唱祭で歌った曲は、友だちの顔や淡い想いもよみがえってきて、自分を励ましてくれる。

さっそく作曲家の前PTA会長(吉田 潔氏)に相談。一緒に校長室に行き、応援歌をつくる了承をもらいその場で「神明 song 製作委員会」が発足した。知らない誰かがつくったのではなく、生徒たち自身の応援歌になるように生徒たちと職員全員から学校を連想する言葉を募り、集まった500余りの言葉と推進員の想いを

神明中でCD製作 全生徒に配布

吉田氏に渡しました。年末にできた曲をCDにコピーして、先生がたが休み中に自宅で練習し、年明けの合唱祭で披露する予定がコロナ感染第6波により中止。急きょCDにして全生徒に配布することになり、中学校でのジャケット写真を撮影して発注した。どうにか卒業式前日に納品され、無事に卒業生に渡すことができました。この「色褪せない宝物」がいつまでも歌い継がれていくことを願って……。

(神明・岡田 安司)



歌詞には、生徒や職員たちの想いが紡がれている

わんぱく特別委員会の立ち上げについて

昨年度新たな取り組みとして「わんぱく委員会」を設置しましたが、感染症の影響でわんぱくフェスティバルが中止となり、実質的な活動ができていませんでした。

そこで、今後の様々な活動や諸問題に対応するため環境整備を目的に「特別委員会」の設置を本年3月23日の役員会の承認を得て細則に追加。そして、本年5月27日「わんぱく特別委員会」の名称で発足しました。メンバーは、各部会から4〜5人選出、総勢22人で構成されています。

わんぱくフェスティバルおよびわんぱく実行委員会については、よこすか育成通信³¹、32号合併号に詳しく掲載されており、今後の課題が浮き彫りになりました。そこで一部に頼っていた活動を青少年育成推進員連絡協議会が主体的に組織し、運営をマニュアル化することにより、どの団体が実行委員会の主体となっても実施できる持続可能な行事としていく必要があります。

実現には膨大な作業と関係



者の協力が必要となります。わんぱく特別委員会および連絡協議会全員の団結力に期待しています。

(わんぱく特別委員会委員長 藤本 孝司)

3年ぶりのわんぱくフェスティバル11月13日開催!!

今後のイベント掲示板

- ◆ わんぱくフェスティバル2022
11月13日(日) 10時~神奈川県立保健福祉大学
- ◆ 子ども・若者育成支援強調月間行事
● 子ども・若者育成支援啓発ポスターパネル展示
11月14日(月)~18日(金)
横須賀市役所北口展示スペース
● 非行防止街頭キャンペーンとポスター展示
11月19日(土) 13時~ 横須賀中央駅Yデッキ
- ◆ 第53回神奈川県青少年指導員大会
11月27日(日) 13時~
神奈川県立保健福祉大学・講堂
- ◆ 第15回中学校対抗ウォークラリー大会
— 光る海、風薫る丘、牧水ゆかりの地を歩く—
12月11日(日) 9時~北下浦中学校および周辺地域
- ◆ 活動体験発表会と講演会
2月11日(土) 14時~
横須賀市立青少年会館・ホール
- ◆ ・よこすか育成通信34号
・青少年育成推進員活動報告書
3月31日発行予定

よこすか育成通信



横須賀市
青少年育成推進員
Webサイト

発行者：横須賀市青少年育成推進員連絡協議会
会長：織田 俊美
住所：〒238-0016 横須賀市深田台37番地(横須賀市立青少年会館内)
横須賀市役所民生局福祉こども部子育て支援課 TEL.046-824-5377

ゆうやけこやけ

かれこれ何年住んだらうか。今や周囲は住み着いたころに比べればかなり様変わりし、山は崩され開発が進みマンションが建ち、生き物の行き場がなくなり、我が家にも住処を追われたタヌキ、ハクビシン、アライグマ、台湾リスが出没。しかし、出没しはじめたころはこんな町中に住み着いているとは驚きであった。

我が家までは変則な階段が120段ほどあり、昇り降りに苦労しております。夜、ほろ酔い気分が家につくまでがひと苦労です。そんな中で黒い影、光ったものが2つ、何かと思い近寄るとあ〜もうビックリ、ビックリですよ!

でも素晴らしいこともあり、見晴らしのよいところで、135度のパノラマで眺めがよいのです。北北東に目を向けると遠くにランドマークタワー、南南東には吾妻島(米軍施設)の山あいが見え、夏場は花火があちこちで見られるのが楽しみです。ただ、難点なのは、風が強く、真冬は積雪があった時はあの120段がネックです。

でも、こんな土地柄ですが愛着を感じており、横須賀 LOVE!! (T・O)

編集後記

なぜだろうか、広報研究部会は他の部会に比べて人数が少ない。それでも熱意とスキルを持った推進員が集まってくる。みんなで校正を重ねると文章が良くなっていく。紙面の構成もそれぞれの個性が活きて素晴らしいものに仕上がっていく。今年は年2回の発行にもどった。掲載記事が古くなる前に読んでもらえることに喜びを感じている。(岡田 安司)